

概況

平成19年1～3月期の出荷数量は、建築向け、土木向けともに減少したことにより20,045.6千㎡、前年同期比6.8%の減少となった。

1. 需要先別の動向

建築向けは11,788.8千㎡、前年同期比4.5%の減少となった。このうち民需向けは住宅向けが6,400.4千㎡、同0.7%の増加、非住宅向けが3,924.2千㎡、同7.2%の減少となった。また、官公需向けは1,464.2千㎡、同16.8%の減少となった。

土木向けは8,256.7千㎡、同9.9%の減少となった。このうち鉄道・電力向けは543.9千㎡、同14.5%の減少、港湾・空港向けは683.6千㎡、同5.5%の減少、道路向けは2,388.0千㎡、同9.5%の減少となった。

2. 地域別の動向

経済産業局（沖縄は内閣府沖縄総合事務局）別にみると、北海道は516.0千㎡、前年同期比12.8%の減少。このうち土木向けは260.3千㎡、同20.5%の減少、建築向けは255.8千㎡、同3.4%の減少となった。住宅向けは好調だったものの、官公需向けや港湾・空港向けなどが低調であった。

東北は1,442.1千㎡、同5.0%の減少。このうち土木向けは754.3千㎡、同10.5%の減少、建築向けは687.8千㎡、同2.0%の増加となった。官公需向けや住宅向けなどが好調だったものの、港湾・空港向けや非住宅向けなどが低調であった。

関東は7,803.2千㎡、同5.3%の減少。このうち土木向けは2,326.5千㎡、同8.7%の減少、建築向けは5,476.6千㎡、同3.8%の減少となった。住宅向けは好調だったものの、官公需向けや鉄道・電力向けなどが低調であった。

中部は2,169.5千㎡、同7.2%の減少。このうち土木向けは875.2千㎡、同9.5%の減少、建築向けは1,294.4千㎡、同5.6%の減少となった。港湾・空港向けや道路向けなどは好調だったものの、鉄道・電力向けや非住宅向けなどが低調であった。

近畿は2,307.8千㎡、同14.7%の減少。このうち土木向けは950.0千㎡、同17.1%の減少、建築向けは1,357.7千㎡、同12.9%の減少となった。鉄道・電力向けが好調だったものの、道路向けや官公需向けなどが低調であった。

中国は1,509.1千㎡、同3.0%の増加。このうち土木向けは801.7千㎡、同0.4%の減少、建築向けは707.4千㎡、同7.0%の増加となった。鉄道・電力向けや官公需向けなどは低調だったものの、住宅向けや非住宅向けなどが好調であった。

四国は1,132.4千㎡、同20.3%の減少。このうち土木向けは727.5千㎡、同22.3%の減少、建築向けは404.9千㎡、同16.5%の減少となった。港湾・空港向けや道路向けなどが低調であった。

九州は2,697.5千㎡、同1.4%の減少。このうち土木向けは1,420.8千㎡、同0.6%の減少、建築向けは1,276.8千㎡、同2.2%の減少となった。鉄道・電力向けや住宅向けなどが好調だったものの、官公需向けや道路向けなどが低調であった。

沖縄は467.9千㎡、同4.2%の減少。このうち土木向けは140.5千㎡、同11.5%の減少、建築向けは327.4千㎡、同0.7%の減少となった。官公需向けや港湾・空港向けなどは好調だったものの、道路向けや住宅向けなどが低調だった。

3. 月別の動向

土木向けは、1月は2,469.4千㎡、前年同期比5.0%の減少、2月は3,033.2千㎡、同9.4%の減少。3月は2,754.2千㎡、同14.3%の減少となった。

建築向けは、1月は3,374.9千㎡、同1.1%の減少、2月は3,907.8千㎡、同5.3%の減少。3月は4,506.1千㎡、同6.2%の減少となった。

全体では、1月は5,844.3千㎡、同2.8%の減少、2月は6,941.0千㎡、同7.1%の減少、3月は7,260.2千㎡、同9.5%の減少となった。

4. 設備能力及び従業員数

3月末の全国のプラントの基数は2,232基で、前期末（18年12月末）より168基の減少、前年同期末（18年3月末）より209基減少している。月間生産能力は57,578千㎡、前年同期比7.7%の減少となっている。

従業員数は、29,207人、前年同期末より3,353人（10.3%）減少している。